

認知症ケアマニュアル

令和2年1月1日版

1. マニュアルの目的

伸康会の施設・事業所を利用されている認知症利用者が、安心して利用できるように、認知症ケアについて整理し、症状別の対応と考え方を定める。

2. 主な認知症の種類と症状

	アルツハイマー型	脳血管性	レビー小体型
認知症の比率 (H28厚労省統計)	約 68%	約 20%	約 4%
主な発病年齢	70 歳以上	50 歳以降、加齢と共に	65 歳以上
性 別	女性に多い	男性に多い	男性に多い
主な症状	記憶障害 認知機能障害	記憶障害 認知機能障害	記憶障害 認知機能障害 パーキンソン症状
特徴的な症状	見当識障害 物盗られ妄想 徘徊 異食	まだら認知症 感情失禁 自発性低下	幻視 症状の変動（認知機能、気分、態度 などの変動） 睡眠時異常行動（睡眠時に叫んだり 暴れたりする） 過眠

3. 認知症高齢者の介護の基本姿勢

高齢者を受入れ、理解する

間違ったことを言っても、むやみに訂正したり、叱ったりしない

自尊心を傷つけない

人生の先輩として、相手を尊重する態度や言葉を心がける。高齢者の人間的な感情を無視しない。

高齢者のニーズやテンポに合わせる

わかりやすく、具体的な話し方をする

短く、はっきりと、優しく、具体的になじみのある言葉で話しかける

相手の生活歴や生活習慣を尊重し、大きく環境を変えるようなことはしない、不安を与えない

孤独にさせない

4. 認知症状の考え方と対応

ここで扱う「不適切行為」は、提供するサービスの質を向上させるための支援場面の具体的ポイントとして継続的に振り返っていくために掲げた。

	認知症状のケース	対応	考え方
①物忘れ	同じ話を何度も言う	・何度言われても怒らず何度でも答える	言ったことを忘れていて、毎回初めて言っている
②徘徊	落ち着かず意味もなく歩き回る	・一緒に歩く ・トイレに誘ってみる	原因を探る。トイレにいつ行ったか便秘はないか観察する
	「家に帰る」と歩きまわる	・一緒に歩く ・なぜ家に帰りたいのか聞く ・帰るなら挨拶してから帰ろうと周りの人に挨拶して回る	一番落ち着ける場所だと考える 目的があるので目的に近い役割を考える
③失禁	汚れた衣類を隠す	・排尿の失敗、隠したことを怒らない ・大丈夫と安心する声がけをしたり、周りにわからないように衣類を交換する ・リハパン、パットの仕組みを説明し、使用すると安心できることを伝える	排尿の失敗を恥じている 人に知られることを恐れている
④被害妄想	泥棒呼ばわりする	・他の人に代わってもらい、距離をおく ・落ち着いたら師範として何か教えてもらう ・関係が一方的でなく「お互い様」と感じられるようにする	介護を受けることに心の負担を感じている 関係が一方的かつ限られたものになっている 孤独ではないか
	何でも人のせいにする	「ほんとひどい人がいるね」と共感しながら、その人のために何かを行ってあげる	老化していることを認めたくないため誰かのせいにする
⑤介護拒否	入浴拒否	・「お風呂に入りたいが一人だとさみしいので一緒に入ろう」と誘う ・一緒に服を脱ぐ ・相性のいい人が対応する ・その気になるまで待つ ・入りたい時間を聞く	人間不信になっている 人の世話になることへの心の負担を感じている 服を脱ぐことへの抵抗がある（恥ずかしい） 自分ひとりが裸になることへの抵抗 その気になっていない 相性が悪い
	オムツ交換の拒否	・汚れたら交換するという後始末ケアから食後トイレに行く生理学的排泄ケアにする	恥ずかしいと感じている トイレで排尿したいと思っている
	食事拒否	・お腹がすくまで待つ ・好きなものを食べてもらう ・食欲が出るよう活動的な1日にする	生きる意欲が減退している 病気の朝貢、ストレスを疑う お腹が空いていない
⑥異食	なんでも口に入れてしまう	・口に入れられないものは、目の届かないところに置く ・スキンシップをはかる ・食べた場合は直ぐに吐き出させる ・慌てたり、怒ったりしない ・一度でも異食したらまた口にすると思いき見守る	目が見えにくく、耳が聞こえにくい ため口で確認しようとしている 空腹な時

⑦弄便 (不潔行為)	オムツの中に手を入れる 便をかき出す	<ul style="list-style-type: none"> ・怒らず知らんふりで素早く対応する ・手に付着している時は、優しく「手が汚れていますよ。洗いましょうね。」とブラシで詰めの間で洗う ・不快な状態にしないよう、朝食後トイレに座って踏ん張る習慣にする 	不快だからさわってしまう 不快なものを取り除こうと便にさわ り、今度はその手が気持ち悪いので あちこちになすりつける
⑧性的 異常行動	女性の身体をさわる	<ul style="list-style-type: none"> ・個性と思って関わる ・さらっと交わす 	もともとの性格 さみしい気持ちの表れ
	卑猥な言葉を発する	<ul style="list-style-type: none"> ・個性の一つだと思って付き合う ・適当に話を合わせる ・他のものに脅威や関心を移す ・軽く受け流したり冷やかしたりする 	脳の障害が原因 老化や脳出血障害によって大脳の欲 求を抑える機能が低下したために、 性的欲求が出る
	局部を露出して歩く	<ul style="list-style-type: none"> ・家族に定期的に面会に来てもらうようお願いする ・スタッフも家族のような接し方をするよう心がける 	ここがどこで自分が誰なのか不安を かんじている 人恋しく性的な形で表れる
⑨その他	叩く	<ul style="list-style-type: none"> ・叩かれても「痛い」と大きな声で言わない ・叩く行為まで興奮させない ・叩かせないように避ける ・無言で叩かせ抵抗しない ・「遺体ので叩かないでください」とやさしく言う 	馬鹿にされたと思っている 自分のことをわかってくれないと抵抗 している うまく伝えられないため叩く行為に なる
	オムツをしているがトイレに行きたいと訴える	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレに連れて行く ・立位が取れない場合は二人で介助する ・オムツをしているからオムツにしてとは言わない 	尿意がある オムツにしたくない 気持ち悪いと感じている